



TITLE:

京大広報 No. 613

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

---

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 613. 京大広報 2006, 613: 2175-2194

ISSUE DATE:

2006-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196478>

RIGHT:



# 京大広報

No. 613

2006. 6



船井哲良記念講堂  
—関連記事 本文2177ページ—

## 目次

### 〈大学の動き〉

- 南京大学との学術交流……………2176  
博士学位授与式……………2176  
船井哲良氏から桂キャンパスへ建物寄附……………2177

### 〈部局の動き〉

- エネルギー科学研究科創立、  
エネルギー理工学研究所改組10周年記念  
講演会・式典・祝賀会を举行……………2177  
ウイルス研究所創立50周年記念式典等を開催  
……………2178  
経営管理大学院開設記念式典を開催……………2179  
医学部附属病院第3回運営顧問会議を開催……………2179

### 〈寸言〉

- 「この方にお会いしていなかったら。」  
平井達雄……………2180

### 〈随想〉

- 指数成長則と生態環境の危機  
名誉教授 久野英二……………2181

### 〈洛書〉

- きのこの生える京大を 永田和宏……………2182

### 〈栄誉〉

- 成宮 周医学研究科教授が恩賜賞・  
日本学士院賞を受賞……………2183  
杉山正明文学研究科教授、佐藤矩行理学研究科  
教授が紫綬褒章を受章……………2183  
高山佳奈子法学研究科教授がドイツ功労十字  
勲章を授与される……………2184

### 〈資料〉

- 平成17年度総長裁量経費による研究課題……………2185  
平成18年度入学試験諸統計……………2186

### 〈計報〉

- 宇治キャンパスで安全衛生教育を実施……………2191

### 〈日誌〉

- ……………2192

### 〈公開講座〉

- 数理解析研究所 数学入門公開講座……………2192  
放射性同位元素総合センター体験授業  
「放射線って何だろう？」……………2193  
理学研究科数学教室公開講座  
「現代数学展望」……………2193  
霊長類研究所公開講座「サルから学ぶ」……………2194

### 〈編集後記〉

京都大学広報委員会

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

## 大学の動き

### 南京大学との学術交流

本学と中国の南京大学は、大学間学術交流協定の締結について協議を重ねてきたが、このたび本学と同大学の教育・研究の交流と協力を推進するための「学術交流に関する一般的覚書」を交換した。

南京大学との「覚書」は、尾池和夫総長と南京大学洪銀興校務委員会主任の署名により、5月11日(木)に締結された。

南京大学は、1902年に設立された高度な学術レベルをもつ研究中心型の総合大学で、著名な学者や政治家を多く輩出している。人文科学、社会科学、自然科学、生命科学等17学部、52学科を有し、教員は2,000人、学生は41,600人を数える。



尾池総長と洪銀興校務委員会主任

ホームページは <http://www.nju.edu.cn/cps/site/NJU/nju/nju.htm>

### 博士学位授与式

5月23日(火)午前10時30分から、時計台記念館国際交流ホールにおいて、尾池和夫総長、教育・学生担当の理事をはじめ、各研究科長・学舎長出席のもと、博士学位授与式が挙行された。

総長から、各授与者に対し学位記(5月23日付)が手交された後、総長の式辞があり、午前11時10分終了した。

各分野別内訳は右表のとおりである。

学 位	課程博士	論文博士	計	学 位	課程博士	論文博士	計
博士(文学)	4	2	6	博士(工学)	9	2	11
博士(教育学)	1	1	2	博士(農学)	4	3	7
博士(法学)	—	—	—	博士(人間・環境学)	2	—	2
博士(経済学)	3	2	5	博士(エネルギー科学)	—	—	—
博士(理学)	7	1	8	博士(地域研究)	—	—	—
博士(医学)	12	5	17	博士(情報学)	2	—	2
博士(社会健康医学)	1	—	1	博士(生命科学)	3	—	3
博士(薬学)	—	—	—	博士(地球環境学)	—	—	—
計				計	48	16	64





## 船井哲良氏から桂キャンパスへ建物寄附

本学と電気機器メーカーの船井電機株式会社(本社：大東市)代表執行役社長 船井哲良氏個人は、本学の教育研究、産学連携および地域交流を推進することを共通の理念として、船井哲良氏が「船井哲良記念講堂」と「船井交流センター」を建設し、寄附することで合意に達した。

今回建設する2棟の建物は、桂キャンパスに建設予定で、「船井哲良記念講堂」は楕円形の500席を有する階段状の講堂、200席の多目的ホールや大小の会議室が設置され、学術交流、産学連携を推進するための中核的拠点として役立てる。また、「船井交流センター」は、工学関係の共同研究施設や実験施設、国内外の短期滞在研究者用ブースのほか、体育館等の運動施設、交流ラウンジが設置され、研究者交流および学生・教職員と地域住民との交流の拠点として活用する。

本学と船井哲良氏は、この記念講堂と交流センターが、教育研究、産学連携および地域交流を推進する中核拠点として、社会に広く開かれた大学の象徴になるものと期待している。

### ■船井哲良記念講堂の概要

1. 場 所 桂キャンパスBクラスター
2. 構造・階数 鉄筋コンクリート造・地上3階
3. 床 面 積 4,007平方メートル
4. 完 成 予 定 2007年7月
5. 寄附の時期 完成後速やかに



船井哲良記念講堂の内部

### ■船井交流センターの概要

1. 場 所 桂キャンパスBクラスター
2. 構造・階数 鉄筋コンクリート造・地上3階
3. 床 面 積 4,772平方メートル
4. 完 成 予 定 2007年7月
5. 寄附の時期 完成後速やかに



船井交流センター

## 部局の動き

### エネルギー科学研究科創立、エネルギー理工学研究所改組 10周年記念講演会・式典・祝賀会を挙げる

エネルギー科学研究科とエネルギー理工学研究所は、それぞれ本年4月1日に創立および5月11日に改組10周年を迎えた。両部局ではこれを記念して、5月13日(土)に医学部構内にある芝蘭会館において、学内外の関係者約200名の参加を得て、記念講演会・式典・祝賀会を挙行政した。

記念講演会では、八尾 健エネルギー科学研究科

長、吉川 潔エネルギー理工学研究所長がそれぞれの部局の10年間の歩みについて概要報告を行うとともに、2つの記念講演が行われた。はじめに、八木 誠関西電力株式会社取締役により「21世紀の電力エネルギー問題の取り組み～持続可能な社会の実現に向けて～」と題して、電力供給の現状とあわせて今後の供給に関わるリスク、それらを克服する方策およ



び将来技術について述べられた。さらに、大学・研究機関等を始め各分野で今後必要となる取り組みなどについても言及された。つぎに、松本 紘理事・副学長から「エネルギーと生存科学」と題して、人類の生存維持、持続的発展を目的とする21世紀の新しい学術としての「生存科学」と「エネルギー科学」の深い関わりと今後のエネルギー科学のあり方および研究者が持つべき理念について、提言がなされた。

また、ロビーにおいて、両部局の10年間の歩みがパネルにより紹介され、多くの人でにぎわった。

これに引き続き、記念式典が行われ、八尾研究科長、吉川所長の式辞のあと、尾池和夫総長の挨拶、清水 潔文部科学省研究振興局長(代読；森 晃憲研究振興局学術機関課長)、エネルギー科学研究科創設母体の一つを代表して西本清一副学長・工学研究科長、全国国立大学附置研究所長会議会長の金 文京人文科学研究所長よりそれぞれ祝辞があり、石川 明文部科学省高等教育局長の祝電が披露された。

式典終了後会場を山内ホールに移し、記念祝賀会が行われた。10年前に総長特別補佐として、大学院創設と研究所改組にご苦労いただいた西川禎一名



誉教授の祝辞のあと、野村淳二松下電工株式会社専務取締役、富田眞治情報学研究科長、修了生を代表して村田貴司文部科学省研究振興局振興企画課長から来賓祝辞があり、創設・改組当時の井村裕夫元総長からの祝電などの披露が行われた。続いて、初代研究科長であった新宮秀夫名誉教授による乾杯の発声で会が始まると、修了生と恩師を囲んで、あるいは、名誉教授と現職教員による創設期の苦労話など、あちこちに歓談の輪ができ、次の世代へのさらなる飛躍を望む声など盛況のうちに幕を閉じた。

(エネルギー科学研究科・エネルギー理工学研究所)

## ウイルス研究所創立50周年記念式典等を開催

昭和31年4月に発足した本学ウイルス研究所は、5月29日(月)に創立50周年の記念式典と講演会を時計台記念館において開催した。記念式典では影山龍一郎ウイルス研究所長の式辞、尾池和夫総長の挨拶に続いて、清水 潔文部科学省研究振興局長(代読；小桐間 徳研究振興局学術機関課研究調整官)、山本 雅東京大学医科学研究所長、成宮 周医学研究科長、西田栄介生命科学研究所長による来賓祝辞の後、多数の祝電が披露された。引き続き、2人のノーベル賞受賞者、利根川進マサチューセッツ工科大学教授(本研究所客員教授)とDavid Baltimore カリフォルニア工科大学長による記念講演が行われた。本式典ならびに記念講演会には、創立50周年を祝うために学内外から400名近い参加者があり、その後、同記念館において祝賀会が開催された。現役



の教員や学生だけでなく、ウイルス研究所に在籍あるいは関わった大勢の人達が集い、本学と早稲田大学が共同開発したホワイトナイルビールを片手に歓談し、盛会裡のうちに終了した。

(ウイルス研究所)

## 経営管理大学院開設記念式典を開催

大学院経営管理研究部・経営管理教育部(通称「京都大学経営管理大学院」)は本年4月、64名の学生を迎えて発足した。この開設を記念して、5月31日(水)に時計台記念館において開設記念式典および記念講演会が開催された。講師に稲盛和夫京セラ名誉会長を迎えて、「経営者のあり方」と題して講演が行われた。経営者のあり方として、経営者のビジョン・ミッションを従業員と共有すること、経営者には高い人格が求められるなど経営の実体験に基づき話され、約250名の来聴者に深い感動を与えた。引き続いて挙行された記念式典には、村田純一京都商工会議所会頭はじめ京都大阪の経済界からの来賓、学内関係者、第一期の経営管理大学院生など約160名の出席があり、吉田和男経営管理研究部長の式辞の後、尾池和夫総長の祝辞、磯田文雄文部科学省大臣官房審議官、堀場雅夫堀場製作所最高顧問、上原 任京



都市副市長などの来賓祝辞によって花添えられて式典が行われた。また、祝賀会では長尾 真前総長、猿渡知之京都府副知事の祝辞、柏原康夫京都銀行頭取の乾杯で祝宴が始まり、新しい高度専門職業人教育を目的とする経営管理大学院の発足を祝った。

(大学院経営管理研究部・経営管理教育部)

## 医学部附属病院第3回運営顧問会議を開催

医学部附属病院では、5月12日(金)に第3回運営顧問会議を開催した。

最初に、内山 卓病院長から、「京大病院の現況」として、平成17年度事業実施報告および平成18年度事業計画を始め、平成19年3月に着工が予定されている「寄付病棟(新病棟)」の概要、病院経営の安定化への方策等についての説明が行われた後、出席委員との意見交換が行われた。

当日は、佐村知子京都府副知事、村田純一京都商工会議所会頭、川端眞一元京都新聞編集委員および野崎治子堀場製作所人事教育部長の4名の委員が出席され、約1時間に涉った意見交換では、産科および小児科の医師の不足や僻地医療対策等、最近の医療を取り巻く社会情勢にも話題が及んだが、会議全



病院の現況について説明する内山病院長

体を通じ京大病院の今後の在り方等についての貴重な意見や助言があり、京大病院にとって有意義な機会となった。

(医学部附属病院)



## 寸言

## 「この方にお会いしていなかったら。」

平井 達雄

もし、この方にお会いしていなかったら、今頃私はどんな道を歩んでいるだろう。もしこの方にお会いできていなかったら、今の自分はないと言い切れる人生の師が、私には3人おられます。先生方は「そんなできの悪い弟子はいない。」とおっしゃると思いますが、お許しを得ずにいろんなところで話をしております。



一人は、京セラ創業者の稲盛和夫塾長。稲盛塾長と呼ばせていただくのは、中小、中堅企業経営者の経営塾「盛和塾」を昭和58年よりボランティアで主宰され、当初よりその盛和塾で「心の経営」を学ばせていただいているからです。二人目は、「TL人間学」提唱者の高橋佳子先生。そして、本年の3月10日に亡くなりました京大名誉教授、日本学士院会員の満田久輝先生です。

今回、京大広報・寸言の原稿依頼があった時、私などがお伝えすることはないと瞬時にご遠慮するつもりでした。しかし、「いや待てよ。」の想いが沸いてきました。それは、卒業後もずっとご指導いただいた満田先生のお別れの会が3日前の4月23日に京都市内のホテルで厳粛に執り行われたばかりだったからです。

満田先生よりいただいた最も大切な学びは「厳しさ」でした。

大学に入学、そして大学院修士課程修了の時には、こんなにも満田先生に長くお世話になり、学ばせていただくとは思ってもみないことでした。昭和42年頃に、父親が満田先生の食品工学科創設に関わる講演を聞かせていただき、私の進学先は京大農学部食品工学科しかないと言い出したことが初めてでした。学生時代は先生の研究姿勢を見聞きさせていただ

ておりましたが、私が先生のすごさを実感したのは卒業後でした。研究者としてのすごさはもとより、研究者よりもひとりの人として、卒業後すぐに家業の会社に入り、世間知らずでそのうえ怠惰に流されてしまう私に、社業そして人としての生き方両面のご指導、ご指導への応え方、大切なものを大切にすることを、事あるごとに、しっかりと心の中にはいるまで繰り返し繰り返し「厳しく」ご指導いただきました。

先生が亡くなられた翌日、一年先輩の中村徹雄先輩（食品工学科1期生）と先生のお家へお悔みに伺わせていただきました。そこには、小さく小さくなられた先生がおられました。

その夜、満田先生がよく行かれたお気に入りのお店に中村先輩に連れていただきました。お店のご主人がおっしゃいました。「ほんとに、厳しい先生やったね。しかし逃げずに真正面からお聞きしよう。そう思ったとたん、全てが変わった。先生だけでなく、仕事も、商売も。」

二軒目は、私が初めて寄せていただくお店でした。店の名は、以前からよく聞いて知っていましたが、先生にお供したことはありませんでした。先生が最もリラックスされる処と聞いていました。「あたたかい、あたたかい人でした。思いやりのある、心底心優しい先生だと感じる出来事がありました。私も人に同じようにしなくてはと思いました。」と涙ながらにご主人は話されました。先生はきっと、この店のご主人のあたたかい心に応えられ、リラックスされていたのでしょう。

帰りのタクシーの中で、中村先輩が「今晚もまた、先生にご指導いただいたね。」とおっしゃいました。

かけがえのない出会い、よき出会い、満田久輝先生に感謝。

（ひらい たつお 京つけもの西利社長、昭和47年農学部卒業、昭和49年大学院農学研究科修士課程修了）



## 随想

## 指数成長則と生態環境の危機

名誉教授 久野 英二

万物の霊長たる人類が持つ知的能力にはすばらしいものが多いが、いささかアンバランスな感みもあり、こと数量的な問題に関するかぎり、私たちが持つ直感力はいかにも頼りない。これは長年生態数理に関わってきた私の率直な感懐である。端的な例はいわゆるネズミ算で、月に2倍の割合で増殖していくと1億倍に増えるまでにはどれだけの年月がかかるか、あるいは逆に毎月半減し続けると1億分の1になるまでどれだけかかるか、という簡単な問題でさえ、ともにわずか2年余、というその解を直感だけで予測できる人はまずいないだろう。これはもちろんマルサス方程式  $N=N_0R^t$  ですぐに解けて、そのキモは、時間変数  $t$  が増殖率  $R$  のべき乗項にあるためその変化が個体数  $N$  の指数的(幾何級数的)変化をもたらすということにあるのだが、残念ながら私たちの頭脳は、加減算はともかく、指数演算をこなす直感力を全く欠いているため、ごく単純なこの原理—指数成長則—の特質を実感として捉えることができないのである。

実は今や急激に深刻化しつつある環境問題においても、指数成長則の想像を絶するこのポテンシャルを思い知らされる場面にしばしば出会う。好適な条件下( $R>1$ )でのそのすさまじさは、セイタカアワダチソウ、イネミズゴケ、ジャンボタニシ、オオクチバス等々、昨今ひきも切らないさまざまな外来生物の爆発的蔓延の過程に如実に現れている。一方で、いったん条件が不適化( $R<1$ )したときに同じ原理がたちまち引き起こす悲劇的な状況にも、われわれは近年、野生生物の激減や絶滅という形でいやというほど直面させられているのである。栄枯盛衰は世のなりというが、さほど遠くない昔には各地でごく普通に見られたという野生のトキやコウノトリのあっけない絶滅が私たちの記憶に新しい。

指数成長則はさらに、同じ分枝過程である種数の



変化を通して生物多様性の問題にも深く関わってくる。この地球上には優に1,000万種を超えようかという、多種多様な動植物がすんでいるのだが、この多様をきわめる生物群も、もとはといえば生命の誕生当時のごく少数の種が分化に分化を重ねて今日に至ったはずである。では太古の生命誕生時ただ1種からスタートしたとして、30億年以上といわれる生命の歴史の間に何回それぞれの種が分化を繰り返せば1,000万種に達しうるのか。その解は  $x=23.25$ 、すなわちわずか24回でよいという、驚くべき結論になる。ヒトという種が誕生後高々数100万年にしかならないことを考えると、これだけの期間があればどんな長足の変化も可能はずで、現世の目を見張るばかりの生物多様性も、このような指数成長則のなせる業とみれば決して不思議ではなからう。反面これを逆に見ると、種数半減の過程が同じ回数起こればこの多様性が霧消してしまうわけで、この試算は、一見頑健そうにみえる生物多様性が、実は大変もろくデリケートなものであることをも同時に物語っている。しかも、自然選択による進化の迂遠さは1回の種分化を成し遂げるのに途方もない年数を要するのに対し、人為による種数減少というその逆過程の所要時間は、人類の現在の破壊力をもってすれば、理論上いかようにも短くできるのである。まさに「破壊は易く創造は難し」である。

生態環境の危機が喧伝されて久しいが、行政の腰はいつも重く対応は後手に回りがちのようだ。その根底にはこうした指数的変化に対する直感的予測力の欠如と、理屈では分かっているが直感に訴えない事柄にはつい目をつむって根拠のない楽観に走りがちで、巷の「サラ金地獄」にも通じる人の本性があるように思えてならない。人為攪乱による生物多様性の崩壊がじわじわと不可逆な臨界点に近づきつつある今こそ、その保全に向けて私たちはあらためて初心に帰り、生態系の根底に横たわる指数成長則の本質を強くまた間断なく意識し続ける必要があるのではないか。

(くの えいじ 元農学研究科教授 平成12年退官、専門は昆虫生態学)

## 洛書

## きのこの生える京大を

永田 和宏

私の家のすぐ近く、岩倉、尼吹山には「松茸の碑」があり、以前は、きのこ採りに行くとかならずこの碑を訪れたものだ。この碑は、わが京都大学に「きのこ学」の伝統を打ち立てた濱田稔一門の人たちが建てたものだという。



濱田先生はじめ、そのお弟子さんたちがまつたけの人工栽培という困難なテーマに挑戦しつづけた話は有名である。それが、菌類学という特異な分野を京都大学に根付かせることになった。因みに故濱田稔博士は、元京都帝国大学総長、濱田耕作の長子である。

私がきのこ採りに熱中していたのは、もう20年ほど前のことになるだろうか。文学部の友人に勧められて、見よう見まねで始めたのだったが、やりはじめるとこれが病みつきになる。私だけでなく、家族まで巻き込み、一時は家族中がきのこに狂っていた。

東大路通りにはプラタナスの並木がある。このプラタナスにきのこが出ることは、ほとんどの人が知らないだろう。春秋二度、ヤナギマツタケという菌ごたえのしっかりした美味なきのこが出るのである。ちょっと古くなったプラタナスの、枝を切った後の断面に見事な大きさのヤナギマツタケが束になって生える。20年前には聖護院通りの京大病院の角あたりから百万遍まで往復すると、手提げの大きな紙袋にいっぱいになったものだ。鍋料理に入れると菌ごたえといい味といい申し分なく、毎年塩漬けにしてひと冬かけて食べていた。

京大のキャンパスにもいろんなきのこを見かけた。旧文学部の建物のまわりには芝が植えられていたが、建物と芝生の間に50センチほどの砂地があった。この砂地にヒトヨタケが出た。文字通り1日で溶けてしまうはかないきのこ。こんもりと深めの丸帽子の、いかにもおとぎ話のきのこという風情である。地上に出てしまってからでは遅いので、顔を見

せるまえに採ってしまうのがコツである。砂に顔を近づけ、砂のちょっとした盛り上がりを探して掘り出す。文学部横の人通りの多いところで、屈みながら顔を地面につけるようにして探している。いったい何をやってるんだと、きつとうさんくさい目で見られていたのだろう。しかし、美人薄命、このきのこもまた美味であった。みそ汁の具として文句無し。このきのこ、ちょっと変わっていて、アルコールと一緒に食すると中毒するらしいが、私が特異体質なのか酒を飲みながら食っても一向に平気であった。

理学部植物園の竹やぶには、真っ白の見事なレースのスカートをはいたキヌガサタケが出る。あこがれのキヌガサタケにはじめてまみえた時は、一人だったが、思わず声が出てしまった。中華料理で珍重されるツーソンという食材になる。他にも私のすぐ近く、南西病棟近くの芝生には、今でも年に2回、ツルタケが生える。これはテングタケ属に属するが、テングタケの多くが猛毒を持っているのに対して、珍しく食菌であり、イボテン酸などを含んで、味は格別である。熊野寮の空き地には、今でもアミガサタケが出ているだろうか。西洋ではセップと呼ばれて食菌の王とされている。バター炒めでワインと一緒に食すれば、天国である。

きのこの多くをスーパーで買えるようになった。マイタケまでもが売られるようになったのはショックであったが、きのこ採りの醍醐味は、自分だけがいま、このきのこを食っているという満足感なのかもしれない。金を出しても買えないもの、自分の足で見つけてこなければ口に入らないもの、これは考えようでは何にもまして贅沢な食である。まして、それが遠くへきのこ採りに出かけるのではなく、毎日生活しているキャンパスの中で採れたのだから、贅沢の極みというものであろう。

こちらが忙しくなりすぎて、きのこパトロールが出来なくなった所為か、京大できのこに出会える機会がずいぶん少なくなったように思う。しかし、ひょっとしたら京大の土地利用が効率的になりすぎて、きのこの生える余裕がなくなったのかもしれない。だとしたら、残念なことである。

(ながた かずひろ 再生医科学研究所教授、専門は分子細胞生物学)

## 栄誉

## 成宮 周医学研究科教授が恩賜賞・日本学士院賞を受賞

この度、成宮 周医学研究科教授が恩賜賞・日本学士院賞を受賞されることになりました。

授賞式は、7月上旬日本学士院で行われる予定です。

以下に成宮教授の略歴、業績等を紹介いたします。

成宮 周教授は、昭和48年京都大学医学部を卒業、同54年同大学大学院医学研究科博士課程を終え、英国ウェルカム研究所研究員として2年間研究に従事した。昭和56年本学医学部医化学第一講座の助手として採用され、同63年薬理学第一講座の助教授を経て、平成4年薬理学第二講座の教授に就任された。平成7年医学部大学院化に伴い、同大学院医学研究科神経細胞薬理学講座教授となり、現在に至っている。



成宮教授の今回受賞の対象となった業績は、「プロスタグランジン受容体の研究」である。プロスタグランジンは、体内で刺激に応じて合成され、生体機能の調節を行っている脂肪酸由来の一群の物質である。プロスタグランジンには、炎症、発熱、痛み、生殖、発ガンなど、多彩な作用があるが、この物質が、どのようにして多種多様な働きを発揮するかは、永らく不明であった。成宮教授の研究は、その作用機構を明らかにした独創性の高い研究である。

成宮教授は、まず、プロスタグランジンの1種で

あるトロンボキサンA<sub>2</sub>の受容体を同定、精製、クローン化し、プロスタグランジンに受容体が存在することを世界で最初に示した。同教授は、さらに、クローン化トロンボキサンA<sub>2</sub>受容体の配列をもとに、スクリーニングを行い、プロスタグランジン受容体全8種の同定と構造決定をおこなった。ついで、これら8種の受容体の各々について遺伝子欠損マウスを作成し、また、各々の受容体に選択的な薬物の創製を促し、これらを駆使することにより、各受容体の生理的・病態生理的意義を解明した。これにより、永らく不明であったプロスタグランジンの作用機構が明らかになるとともに、新規のプロスタグランジン作用が数多く見いだされた。

これら一連の研究に対して、平成10年大阪科学賞、同11年武田医学賞、エルウィン・フォン・ベルツ賞、同12年ジョバンニ・ロレンツィーニ財団ゴールド・メダル、同14年上原賞、同17年紫綬褒章など多数の賞が授与された。

以上のように成宮教授の輝かしい業績を考えると、今回の受賞は誠に喜ばしい。

(大学院医学研究科)

## 杉山正明文学研究科教授、佐藤矩行理学研究科教授が紫綬褒章を受章

このたび、我が国学術の発展のため顕著な功績を挙げたことにより、杉山正明文学研究科教授、佐藤矩行理学研究科教授が4月29日(土)に紫綬褒章を受章されました。

以下に両教授の略歴、業績等を紹介いたします。

杉山正明教授は、昭和49年京都大学文学部史学科を卒業、同51年同大学大学院文学研究科修士課程を経て、同大学院文学研究科博士課程に進学し、同54年京都大学人文科学研究所助手、同63年京都女子大学文学部講師、翌年に同助教授、平成4年京都大学文学部助教授、同7年教授となり、東洋史学・内陸アジア史部門を担当して、現在に至っている。

杉山教授は、13・14世紀のモンゴル時代史を中心に、ユーラシア史の視点から東西文明の枠をこえて

研究し、新たな世界史像を提唱してきた。近年は総合地球環境学研究所との文理融合型プロジェクトなども推進している。

これら一連の業績に対し、平成7年にサントリー学芸賞、同15年に第6回司馬遼太郎賞を受賞されている。これらに続いての今回の紫綬褒章受章は、まことに喜ばしい。

(大学院文学研究科)



佐藤矩行教授は、昭和48年9月に東京大学大学院理学研究科博士課程を中退し(昭和49年東京大学理学博士)、同年10月に京都大学理学部助手(動物学教室)、昭和55年に同助教教授、平成6年に同教授となり、大学院理学研究科生物科学専攻動物学系動物科学講座を担当して現在に至っている。平成16年4月より21世紀COEプログラム「生物多様性研究の統合のための拠点形成」のリーダーとして理学教育および研究を推進している。学外では、日本動物学会副会長、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、日本学術会議連携会員などを通して、我が国の学術の振興に寄与している。



佐藤教授は発生生物学および動物ゲノム科学の領域で顕著な業績を挙げ、この領域における著書および論文は300編に及んでいる。これまでの研究としては、(1)脊索動物ホヤの発生関連遺伝子の発現と

機能をゲノムワイドに研究し、近代的な発生生物学研究システムとしてのホヤを確立したこと、(2)脊索動物の起源と進化に関連して、ホヤ、ナメクジウオ、ギボシムシなどを対象に、脊索形成の分子メカニズムを解明したこと、(3)日米の共同研究を主宰し、ホヤのゲノムを解読し、他の動物のゲノムとの比較により、脊索動物および脊椎動物の起源と進化の際に起こったと思われる遺伝子的変化を明らかにしたこと、などが挙げられる。これらの研究は、いずれにおいてもその分野の基盤を形成し、動物の進化発生生物学と発生ゲノム科学に大きな影響を及ぼし、また、この分野をリードしている。

これら一連の業績に対して、平成3年に日本動物学会賞、同5年に井上學術賞、同16年度に東レ科学技術賞、日本進化学会木村資生記念学術賞、同17年度にアレキサンダー・コワレフスキーメダルを受賞されている。これらに続いての今回の紫綬褒章受章は、まことに喜ばしい。

(大学院理学研究科)

## 高山佳奈子法学研究科教授がドイツ功労十字勲章を授与される

高山佳奈子法学研究科教授に、「ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章」(Verdienstkreuz am Bande des Verdienstordens der Bundesrepublik Deutschland)が授与された。5月12日(金)に、東京都港区のドイツ大使公邸において、ホルスト・ケーラー連邦大統領の代理となるヘンリク・シュミーゲロー駐日ドイツ大使から、勲章および略章が伝達された。

伝達式では、シュミーゲロー大使より、高山教授の略歴と、刑事法を中心とする法学分野での日独の学術交流における貢献が紹介された。次いでケーラー連邦大統領の勲記が読み上げられ、勲章が伝達された後、高山教授が答礼を行い、参列者を代表して森本 滋法学研究科長より挨拶があった。

ドイツの勲章制度は1951年に再開され、現行制度は1966年から運用されている。功労十字小綬章は、最初に受けることのできる勲章のうち上位のもので、原則として40歳以上の者を対象とする。

Das Verdienstkreuz am Bande  
(Damenausführung)



(大学院法学研究科)

## 資料

## 平成17年度総長裁量経費による研究課題

平成17年度の総長裁量経費については、下記の38件が採択されました。

採択された研究課題および代表者等は次のとおりです。

プロジェクト課題	代表者所属・職名・氏名	プロジェクト関連部局
空間の行動文化の展開とその教育環境整備	文学研究科 教授 藤田和生	
教師教育における「情報文化力」の育成	教育学研究科 教授 川崎良孝	図書館, 博物館
学部および法科大学院の間における法学教育の連携に関する検討	法学研究科 教授 中森喜彦	
京都大学経済学研究科上海センター(現代中国経済研究)プロジェクト	経済学研究科 教授 山本裕美	農学, 経済研, 東南研, 国流セ
望遠鏡・観測装置に用いる精密光学素子の研削技術開発	理学研究科 教授 長田哲也	
学習者にフレンドリーな e-Learning 環境開発プロジェクト	医学研究科 教授 成宮 周	
電子媒体を活用した栄養教育システム開発・公開に係るプロジェクト	医学部附属病院 栄養管理室長 幣 憲一郎	
リスクマネジメントに対応した薬剤実習のための基盤整備	医学部附属病院 教授 乾 賢一	医学, 薬学
新教育制度実施に向けた薬学教育の重点化プログラム	薬学研究科 教授 橋田 充	
京都大学フィールド映像アーカイブ・センター構想に向けた基礎調査	人間・環境学研究科 教授 福井勝義	理学, 農学, AA 科, 東南研, フィールド
京都大学所蔵近代教育掛図の総合的調査・研究	人間・環境学研究科 教授 松田 清	全学部, 図書館, 博物館, 文書館
国際的視野のエネルギー科学の教育研究を志向した体制の改革	エネルギー科学研究科 教授 近藤克己	人・環, 地球, エネ研, 生存研, 原子炉, 国際融合
地域研究における教育指導の高度情報化に関する研究	アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科長 市川光雄	
ベトナム海外拠点での「環境・防災マネジメント教育」の実施および安全体制の構築	地球環境学 学舎長 嘉門雅史	
IBLを用いた医療ミスを予防するためのソフト開発 ー学生の予測能力を育成するためのトレーニングプログラムー	医学部(保健学科) 教授 江川隆子	医学部(保健学科)
生存基盤科学高等研究院設立に向けた連携研究	エネルギー理工学研究所 所長 吉川 潔	化研, エネ研, 生存研, 防災研
人文研発行東方学資料のデジタル化と Web 上での公開	人文科学研究所 教授 森 時彦	
新規技術による患者個人幹細胞の作製	再生医科学研究所 助教授 多田 高	
「透明電波吸収体」の基礎研究 ー宇治部局間連携による若手の挑戦ー	生存圏研究所 助手 三谷友彦	化研
地球システム危険度軽減のための研究・学習の国際協力とネットワークの推進	防災研究所 教授 河田恵昭	理学, 工学, 地球
ウイルスベクターバイオリソースと感染実験教育指導体制の確立	ウイルス研究所 教授 小柳義夫	
数学文献の電子化に関する調査研究	数理解析研究所 教授 高橋陽一郎	
地域研究統合情報センター設置に向けた全国共同利用ネットワークの制度設計	東南アジア研究所 所長 田中耕司	AA 科
国際交流科目の実施	国際交流センター センター長 田村 武	経済学, 東南研
e-ラーニングによる日本語教育教材の開発・作成及び OCW への活用	国際交流センター 教授 森 真理子	
学生・教職員共同参画「京都大学教育交流会」プロジェクトの推進	高等教育研究開発推進センター 教授 林 哲介	高等教育機構
有機／金属ヘテロ界面におけるキャリアダイナミクス解明に関する革新的アプローチ	国際融合創造センター 教授 藤田静雄	工学
有機分子デバイス開発のための新たな設計指針に関する研究	工学研究科 助手 川畑 弘	
教育用コンピュータシステム端末室開館時間延長の実施方法調査	学術情報メディアセンター 教授 喜多 一	
アフリカ地域研究電子化資料の社会還元を目指したインターフェイス改善	アフリカ地域研究資料センター センター長 荒木 茂	
京都大学における「学徒出陣」に関する調査・研究	大学文書館 館長 藤井譲治	
WEB履修登録システムの構築[全学共通教育教務情報システム(KULASIS)]	高等教育研究開発推進機構 機構長 丸山正樹	高等教育機構

プロジェクト課題	代表者所属・職名・氏名	プロジェクト関連部局
こころの未来研究センター設置準備委員会	役員 理事 金田章裕	学内心理学関連部局
京都大学ジュニアキャンパス	役員 理事 東山紘久	
京都大学シニアキャンパス	役員 理事 東山紘久	
学生への交通安全及び犯罪被害に遭わないための指導	役員 理事 東山紘久	
学生寄宿舍吉田寮改修計画（木造耐震診断費用等）	役員 理事 東山紘久	施設・環境部
Open Course Ware（OCW）テストプロジェクト	役員 理事 東山紘久	メディア

## 平成18年度入学試験諸統計

### 1. 募集人数・志願者数・合格者数・入学者数等調

学部・日程	募集人員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞退者数	追 加 合格者数	入学者数
総合人間 学 部	前期(文系)	55 <sup>人</sup>	198 <sup>人</sup>	194 <sup>人</sup>	192 <sup>人</sup>	57 <sup>人</sup>		123
	前期(理系)	50	180	178	175	51		
	後 期	15	257	240	156	15		
文 学 部	前 期	190	577	573	567	194	1	225
	後 期	30	385	300	150	32		
教育学部	前 期	40	164	163	158	41	1	62
	後 期	20	174	152	92	22		
法 学 部	前 期	300	886	882	871	303		328
	後 期	10	419	290	106	25		
経済学部	前期(一般)	160	503	500	493	160		240
	前期(論文)	50	281	250	241	50		
	後 期	20	704	570	346	30		
理 学 部	前 期	280	857	838	826	283	2	312
	後 期	31	878	865	562	31		
医 学 部	前 期	213	618	550	540	225	17	259
	後 期	30	338	292	177	51		
薬 学 部	前 期	70	184	183	178	76		87
	後 期	10	131	131	74	11		
工 学 部	前 期	857	2,224	2,218	2,197	860	3	958
	後 期	98	988	832	351	101		
農 学 部	前 期	233	581	578	572	243	5	310
	後 期	67	719	718	431	72		
小 計	前 期	2,498	7,253	7,107	7,010	2,543		
	後 期	331	4,993	4,390	2,445	390		
合 計		2,829	12,246	11,497	9,455	2,933	29	2,904

〔外国学校出身者のための選考の実施結果（外数）〕

学 部	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	受験者数	合格者数	入学者数
法 学 部	20名以内	41 <sup>人</sup>	23 <sup>人</sup>	13 <sup>人</sup>	7 <sup>人</sup>	7 <sup>人</sup>
経済学部	10名以内	26	16	13	11	11



## 〈医学部・薬学部学科・専攻別内訳〉

学部・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞退者数	追 加 合格者数	入学者数
医 学 部	前期	213 <sup>人</sup>	618 <sup>人</sup>	550 <sup>人</sup>	540 <sup>人</sup>	225 <sup>人</sup>	17 <sup>人</sup>		259 <sup>人</sup>
	後期	30	338	292	177	51			
医 学 科	前期	90	344	278	276	95	1		104
	後期	10	155	110	71	10			
保 健 学 科	前期	123	274	272	264	130	16		155
	後期	20	183	182	106	41			
看 護 学 専 攻	前期	63	142	141	135	69	13		76
	後期	7	80	80	46	20			
検査技術科学専攻	前期	30	77	77	76	30	1		40
	後期	7	53	53	32	11			
理学療法専攻	前期	15	39	38	37	16			20
	後期	3	25	24	12	4			
作業療法専攻	前期	15	16	16	16	15	2		19
	後期	3	25	25	16	6			
薬 学 部	前期	70	184	183	178	76			87
	後期	10	131	131	74	11			
薬 科 学 科	前期	44	114	113	110	50			57
	後期	6	74	74	34	7			
薬 学 科	前期	26	70	70	68	26			30
	後期	4	57	57	40	4			

## 〈工学部・農学部学科別内訳〉

学部・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞退者数	追 加 合格者数	入学者数
工 学 部	前期	857 <sup>人</sup>	2,224 <sup>人</sup>	2,218 <sup>人</sup>	2,197 <sup>人</sup>	860 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>		958 <sup>人</sup>
	後期	98	988	832	351	101			
地 球 工 学 科	前期	166	465	465	462	166	2		185
	後期	19	248	228	105	21			
建 築 学 科	前期	72	238	237	234	73			81
	後期	8	117	80	29	8			
物 理 工 学 科	前期	211	492	492	489	211			235
	後期	24	214	192	65	24			
電気電子工学科	前期	117	326	325	322	118	1		130
	後期	13	123	92	48	13			
情 報 学 科	前期	81	240	237	230	81			91
	後期	9	97	90	58	10			
工 業 化 学 科	前期	210	463	462	460	211			236
	後期	25	189	150	46	25			
農 学 部	前期	233	581	578	572	243	5		310
	後期	67	719	718	431	72			
資源生物科学科	前期	75	—	—	—	77	1		96
	後期	19	168	168	113	20			
応用生命科学科	前期	38	—	—	—	41			51
	後期	9	119	119	60	10			
地域環境工学科	前期	26	—	—	—	27	2		38
	後期	11	141	141	89	13			
食料・環境経済学科	前期	23	—	—	—	25			34
	後期	9	110	110	78	9			
森 林 科 学 科	前期	45	—	—	—	47	2		58
	後期	12	129	128	65	13			
食品生物科学科	前期	26	—	—	—	26			33
	後期	7	52	52	26	7			

## 2. 合格者 最高点・最低点（総点）調

学 部	日 程		満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
総 合 人 間 学 部	前 期	(文 系)	800 点	597.16 点	499.66 点	530.70 点
		(理 系)	800	589.00	472.25	517.24
	後 期		800	594.99	512.99	536.46
文 学 部	前 期		700	558.08	448.78	480.34
	後 期		700	529.30	466.70	489.70
教 育 学 部	前 期		900	667.78	569.35	606.34
	後 期		900	615.99	552.24	576.23
法 学 部	前 期		750	580.60	479.55	514.86
	後 期		500	407.50	379.70	387.66
経 済 学 部	前 期	(一 般)	800	627.35	521.00	553.00
		(論 文)	1,000	671.68	484.76	543.82
	後 期		950	619.96	544.58	573.62
理 学 部	前 期		650	529.00	366.00	415.18
	後 期		400	336.00	267.00	289.77
医 学 部	前 期		—	—	—	—
	後 期		—	—	—	—
医 学 部 学 科 別	日 程		満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
	前 期	医 学 科	1,300 点	1,062.85 点	909.43 点	958.45 点
		保健学科看護学専攻	1,200	824.40	597.80	683.36
		保健学科検査技術科学専攻	1,200	877.73	760.50	795.49
		保健学科理学療法専攻	1,200	889.40	791.33	839.47
		保健学科作業療法専攻	1,400	977.76	548.10	809.32
		医 学 科	1,250	939.20	838.53	885.90
	後 期	保健学科看護学専攻	1,200	797.56	641.16	702.57
		保健学科検査技術科学専攻	1,200	888.60	730.96	783.28
		保健学科理学療法専攻	1,200	853.06	795.86	823.56
		保健学科作業療法専攻	1,400	916.30	822.76	873.05
	前 期		950	790.16	571.10	657.15
	後 期		950	717.35	560.95	611.89
薬 学 部	日 程		満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
	前 期	薬 科 学 科	950 点	790.16 点	619.43 点	668.15 点
		薬 学 科	950	754.13	571.10	636.00
	後 期		950	717.35	568.15	622.58
工 学 部	前 期		1,000	871.10	624.50	698.13
	後 期		—	—	—	—
工 学 部 学 科 別	日 程		満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
	前 期	地 球 工 学 科	1,000 点	781.16 点	625.61 点	676.39 点
		建 築 学 科	1,000	803.46	673.65	719.56
		物 理 工 学 科	1,000	862.00	664.48	727.31
		電 気 電 子 工 学 科	1,000	871.10	644.63	687.17
		情 報 学 科	1,000	831.85	644.30	709.12
		工 業 化 学 科	1,000	790.13	624.50	680.55
	後 期	地 球 工 学 科	1,100	899.50	761.50	804.86
		建 築 学 科	450	363.00	261.00	298.13
		物 理 工 学 科	1,100	918.75	780.50	834.23
		電 気 電 子 工 学 科	500	418.59	367.31	386.70
		情 報 学 科	300	190.00	105.00	136.50
		工 業 化 学 科	1,000	645.66	558.50	585.43
農 学 部	前 期		1,050	893.26	649.33	716.36
	後 期		—	—	—	—
農 学 部 後 期 学 科 別	日 程		満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
	後 期	資源生物科学科	810 点	664.06 点	484.96 点	521.69 点
		応用生命科学科	810	589.39	525.42	550.42
		地域環境工学科	900	716.00	541.90	598.86
		食料・環境経済学科	800	555.66	478.33	505.25
		森 林 科 学 科	810	620.29	474.88	521.73
		食品生物科学科	290	252.30	228.30	237.22

(備考) 1) 法学部・経済学部的外国学校出身者のための選考を除く。  
2) 総点については、前期・後期共合格発表時のものである。

## 3. 志願者・入学者 出身高校等所在都道府県別調

上段…志願者数  
下段…入学者数

都道府県		学 部										計
		総合 人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農	
北海道		20 7	12 2	3	22 4	15 2	34 8	12 2	4	44 12	21 1	187 38
東 北	青 森	2	4 1		1	1	11	3		9 1	1	32 2
	岩 手	1	4 2		1	3	4 1	2 1		4	2	21 4
	宮 城	7 2	11 1	2 1	1	9 2	14 2	3	1	12 2	7 1	67 11
	秋 田	2 1	2 1	1			3 1	1		5 3	3	17 6
	山 形	1	1 1			1	3	2		4	1	13 1
	福 島	8	3 1	2	3 1	7 1	16 2	5	1	11 2	6 1	62 8
関 東	茨 城	13	8	1	4	15 2	17 4	9 4	1	18 4	11	97 14
	栃 木	5 1	4 1	1	1 1	1	11 3	5 1	1	8 3	5 2	42 12
	群 馬	5	8		9 2	12 3	11 2	3	1	18 3	3 1	70 11
	埼 玉	11 3	16 3	8 3	16 1	29 2	49 6	5 1		36 5	27 4	197 25
	千 葉	16 1	13 2	5 1	7	37 5	45 4	13 2	8 2	40 9	25 4	209 30
	東 京	82 12	68 9	20 2	61 9	123 13	182 30	49 12	18 1	86 14	75 15	764 117
	神奈川	20 2	20 3	6 1	36 5	48 7	53 8	19 2	9	51 13	34 3	296 44
中 部	新 潟	5	10 5	3	7 1	10	17 4	4 3		13 5	5	74 18
	富 山	6 2	9 2	4	2 1	7	10 1	2 2		16 4	2 1	58 13
	石 川	1 1	11 4	4 1	16 1	12 1	11 3	7 3	2	37 17	9 2	110 33
	福 井	6 2	15 2	4	14 5	16 2	15 5	5 1	3 1	31 8	12 2	121 28
	山 梨	1	3 1		2	5	9	2	1 1	5 1	6	34 3
	長 野	9 2	16 2	3 1	7	16 2	30 5	6	3	29 6	13 5	132 23
	岐 阜	13 4	14 2	1	18 3	16 4	31 7	12 5	9 3	54 13	16 5	184 46
	静 岡	18 3	23 4	6 1	19 5	23 3	39 3	12 4	2	70 20	18 6	230 49
	愛 知	33 8	47 12	17 2	80 20	81 16	99 20	45 9	21 6	198 63	70 17	691 173

都道府県		学						部				計
		総合 人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農	
近畿	三重	102	143	113	305	213	197	125	32	5216	165	18851
	滋賀	165	163	142	235	312	284	258	165	10024	318	30066
	京都	406	8616	374	16255	17033	14224	8818	4612	33492	13431	1,23929
	大阪	8520	14136	5110	22258	27053	23038	16947	4514	639193	28272	2,134541
	兵庫	5415	9925	397	15847	19031	14026	17353	2511	407134	13932	1,424381
	奈良	247	6317	228	11534	10723	6722	8330	3812	319114	10428	942295
	和歌山	1	239	103	156	122	223	122	52	6920	186	18753
中国	鳥取		52	31	42	3	151	6		145	61	5612
	島根		52		62		91	73	1	95	2	3913
	岡山	81	258	72	2611	253	277	155	21	5121	195	20564
	広島	215	3414	124	344	366	448	218	135	10435	3514	354103
	山口	51	94	5	162	91	235	7	1	194	81	10218
四国	徳島	2	51	1	73	41	5	42	31	105	61	4714
	香川	91	275	101	268	114	277	183	52	4014	113	18448
	愛媛	1	113	72	215	15	286	143	2	3712	71	14332
	高知	61	123	1	151	61	193	61	21	163	217	10421
九州	福岡	324	279	5	399	347	6016	228	93	9028	3816	356100
	佐賀		2		1	4	92	11		125	3	328
	長崎	2	51	1	3	51	103	54	2	123	61	5113
	熊本	101	101		123	12	121	61	2	196	103	9316
	大分	1	2	21	21	2	51		2	3	21	214
	宮崎	3			63	4	71	6	2	135	3	449
	鹿児島	82	114	1	183	112	245	154	52	244	112	12828
	沖縄		1	1	42	2	91	41	1	21	1	265
合計		623122	955224	33161	1,292328	1,471238	1,695311	945259	31587	3,194957	1,286308	12,1072,895

(備考) 高等学校・中等教育学校以外の外国学校出身者及び  
高等学校卒業程度認定試験合格者等の入学資格取得  
者は除く。



## 4. 志願者・入学者 入学資格取得年別調

学 部	志 願 者						入 学 者					
	総数	現 役	浪 人				総数	現 役	浪 人			
		18. 3卒	17. 3卒	16. 3卒	15. 3卒	14. 3以前卒		18. 3卒	17. 3卒	16. 3卒	15. 3卒	14. 3以前卒
総合人間学	635	398	160	39	10	28	123	72	44	5	1	1
	認 11 他 1	認 4		認 1	認 3	認 3 他 1	認 1	認 1				
		62.7%			37.3%			58.5%			41.5%	
文学部	962	606	285	40	9	22	225	129	86	6	1	3
	認 7	認 1	認 4		認 2		認 1				認 1	
		63.0%			37.0%			57.3%			42.7%	
教育学部	338	202	106	11	2	17	62	35	25	1		1
	認 7	認 4		認 3			認 1	認 1				
		59.8%			40.2%			56.5%			43.5%	
法学部	1,305	865	346	39	14	41	328	198	119	8	2	1
	認 13	認 1		認 3		認 9						
		66.3%			33.7%			60.4%			39.6%	
経済学部	1,488	833	470	108	30	47	240	121	101	14	1	3
	認 17	認 6	認 4	認 4	認 1	認 2	認 2		認 1	認 1		
		56.0%			44.0%			50.4%			49.6%	
理学部	1,735	1,014	420	101	50	150	312	199	90	14	1	8
	認 37 他 3	認 12 他 1	認 11	認 2	認 5	認 7 他 2	認 1		認 1			
		58.4%			41.6%			63.8%			36.2%	
医学部 医学科	499	222	110	42	16	109	104	56	40	4		4
	認 7	認 3	認 2		認 1	認 1						
		44.5%			55.5%			53.8%			46.2%	
医学部 保健学科	457	258	110	38	20	31	155	87	42	14	7	5
	認 2 他 2			他 2	認 2							
		56.5%			43.5%			56.1%			43.9%	
薬学部	315	214	48	12	4	37	87	60	22	2		3
		67.9%			32.1%			69.0%			31.0%	
工学部	3,212	2,253	769	96	24	70	958	674	256	20	2	6
	認 18	認 4	認 3	認 1	認 4	認 6	認 1	認 1				
		70.1%			29.9%			70.4%			29.6%	
農学部	1,300	770	387	60	31	52	310	190	106	8	5	1
	認 13 他 1	認 5	認 1 他 1	認 1	認 4	認 2		認 1 他 1	認 1 他 1			
		59.2%			40.8%			61.3%			38.7%	
合 計	12,246	7,635	3,211	586	210	604	2,904	1,821	931	96	20	36
	認 132 他 7	認 40 他 1	認 25 他 1	認 15 他 2	認 22 他 3	認 30 他 3	認 8 他 1	認 4 他 1	認 2 他 1	認 1 他 1	認 1 他 1	
		62.3%			37.7%			62.7%			37.3%	

〔外国学校出身者のための選考に係る入学資格取得年別調（外数）〕

学 部	志 願 者			入 学 者		
	総 数	現 役	浪 人	総 数	現 役	浪 人
		17.4～18.3卒	17. 3以前卒		17.4～18.3卒	17. 3以前卒
法学部	41	38	3	7	7	0
	他 41	38		他 7	7	
		92.7%	7.3%		100.0%	0.0%
経済学部	26	22	4	11	8	3
	他 26	22	4	他 11	8	他 3
		84.6%	15.4%		72.7%	27.3%

認…高等学校卒業程度認定試験合格者  
 （大学入学資格検定合格者含む）  
 他…その他の入学資格取得者

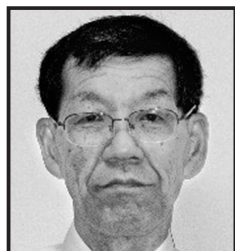
## 訃報

このたび、秋田憲治<sup>あきた けんじ</sup>情報環境部情報企画課専門職員が逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

以下に同氏の略歴、業績等を紹介します。

## 秋田 憲治 情報環境部情報企画課専門職員



秋田憲治氏は、4月21日逝去された。享年56。

同氏は、昭和43年4月京都大学工学部に採用され、平成元年2月に医学部附属病院管理課第二調度掛薬品調達主任に昇任、同9年4月

京都工芸繊維大学会計課給与・共済係長に昇任され

た。その後、平成12年4月学生部厚生課保健掛長、同16年4月学術情報メディアセンター等事務部研究協力掛長、同17年4月情報環境部情報企画課研究協力掛長を経て本年4月より同課専門職員として勤務されていた。

同氏は、常に積極的かつ果敢に職務に取り組み責任感をもってその職責を全うされた。

(情報環境部)

## 話題

## 宇治キャンパスで安全衛生教育を実施

宇治キャンパスで、5月18日(木)午後2時から新たに研究所・事務部に配属・採用された大学院生、4回生、教職員等を対象に安全衛生教育を実施した。



挨拶する堀井教授

宇治事業場総括安全衛生管理者である堀井文敬化学研究所教授の挨拶の後、衛生委員会委員等の講師により「安全衛生管理体制」、「化学実験および化学物質管理」、「生物実験および放射線取扱」、「物理実験および計算機関係」、「フィールドワーク関係およびリスクへの対応」、「廃棄物および排水」、「喫煙問題」について、安全の基本



安全衛生に関する講習を熱心に受講する参加者

となる事項や危険の防止に関する講習が実施された。

約240名の参加者は熱心に聞き入り、午後4時15分に終了した。

(宇治地区事務部)

## 日誌 2006.4.1 ～ 4.30

- |  |   |
|--|---|
| 4月3日 役員会   | 18日 部局長会議   |
| 5日 名誉教授称号授与式   | 〃 韓国, Cho Sung Shik 大韓民国学術院<br>訪問団団長 他14名, 総長他と懇談 |
| 〃 退職教授懇談会  |   |
| 〃 学生部委員会   | 19日 国際交流委員会                                       |
| 7日 学部入学式   | 20日 理事と職員組合の団体交渉                                  |
| 〃 大学院入学式   | 24日 役員会   |
| 10日 役員会  | 25日 施設整備委員会                                       |
| 〃 早稲田大学との調印式   | 〃 教育研究評議会   |
| 11日 総長, AEARU 18 <sup>th</sup> Board of Directors<br>Meeting 出席のため, 中国を訪問(13日<br>まで) | 26日 財務委員会   |
| 17日 役員会  | 27日 入学者選抜方法研究委員会                                  |
|  | 28日 図書館協議会  |

## 公開講座

### 数理解析研究所 数学入門公開講座

- 期 間：7月31日(月)～8月3日(木)  
(8月4日(金)に, 各講師に自由に質問・討論できるオフィスアワーを設けます。)
- 時 間：毎日 10:30～16:00
- 場 所：数理解析研究所 4階大講演室
- 演題と講師：ベクトル解析, 微分方程式, 流体力学  
クンツ環の話  
ガロア理論とその発展  
助教授 大木谷耕司  
助 手 阿部 光雄  
教 授 玉川安騎男
- 受 講 料：7,200円
- 受付期間：6月12日(月)～7月3日(月) 17:00(必着)
- 問い合わせ先：数理解析研究所総務掛「数学入門公開講座」係  
TEL：075-753-7203 FAX：075-753-7272  
E-mail：kouza@kurims.kyoto-u.ac.jp  
詳細は数理解析研究所ホームページをご覧ください。  
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/~kenkyubu/kokai-koza/index.html>



## 放射性同位元素総合センター体験授業「放射線って何だろう？」

皆さんの身の回りにはいつも自然放射線があるということ、ご存知ですか？この授業に参加して天然の放射線について知ってください。家庭にある材料で放射線を観察する「霧箱」を作り、自分の目で放射線を見てみましょう。

1. 日 時：8月3日(木) 13:00～16:30 小学生の部  
8月4日(金) 13:00～16:30 中学生・高校生の部
2. 場 所：放射性同位元素総合センター・教育訓練棟
3. 内 容：放射線のプロたちによる講義と実習
4. 対 象：小学生(4年生以上), 中学生, 高校生, 保護者
5. 参 加 費：無料
6. 応 募 締 切：7月21日(金)  
応募方法等詳細については、放射性同位元素総合センターホームページをご覧ください。  
<http://www.rirc.kyoto-u.ac.jp/taiken/>

## 理学研究科数学教室公開講座「現代数学展望」

1. 日 時：8月7日(月)～ 8月9日(水)  
各日(3日間共) 10:00～17:00
2. 場 所：理学研究科5号館1階第4講義室
3. 内 容：複素関数を見る  
フーリエ級数と偏微分方程式  
つぶれ方の幾何学  
教 授 上田 哲生  
教 授 堤 誉志雄  
講 師 高村 茂
4. 受 講 料：8,200円 (受講決定通知後に受講料を納入願います。)  
※以前とは異なり銀行振込に変わっています。
5. 申 込 期 間：6月1日(木)～ 7月10日(月)
6. 問い合わせ先：大学院理学研究科数学教室  
TEL：075-753-3700  
詳細は、理学研究科数学教室ホームページをご覧ください。  
<http://www.math.kyoto-u.ac.jp/koukai.html>

## 霊長類研究所公開講座「サルから学ぶ」

1. 日 時：8月24日(木)・25日(金) 10:00～17:00
2. 場 所：霊長類研究所(愛知県犬山市官林41-2)
3. 演題と講師：「危機に瀕している霊長類：霊長類の保全と管理」 室山 泰之  
「種をめぐる二つの話題：マカクの新種問題と外来種問題」 川本 芳  
「脳損傷からの機能回復：もう一度じょうずにつかめるように」 大石 高生  
「前頭葉と記憶：思考過程で使われる記憶はどう処理される？」 三上 章允  
実 習：形態学 遠藤 秀紀  
心理学 友永 雅己・田中 正之  
遺伝学 田中 洋之  
野外行動観察 室山 泰之  
脳科学 三上 章允
4. 受講料：7,200円
5. 申込締切：7月18日(火)
6. 定 員：60人
7. 問い合わせ先：霊長類研究所総務掛

TEL：0568-63-0512 FAX：0568-63-0085

E-mail：kou18@pri.kyoto-u.ac.jp

申込方法等、詳細は霊長類研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

### 編集後記

最近のポスターは、見る側の注意を惹き付けるものもありますが、またかと思わせるものが多いようです。学術講演会ポスターは企業ベースでかなり高度な人目をひくものもありますが、反って、講演会そのもののイメージを壊してしまい、一抹の寂しさすら感じることがあります。

また、大学内で開催日の直前に所狭しと貼りだされるものや、中身だけを意識したポスターは、何のプラスにも繋がらない結果をもたらします。広報担当者は、見てもらい読んでもらえるポスターを作成するとともに、誰に何を訴えることができたか再考をお願いします。

さらに、コストパフォーマンスを意識して、前例に従うことなく今一度、見る側に立ってポスターが必要かどうか、ご一考していただければ幸いです。